

自主臨床研究

連合小児発達学研究科
(発達・睡眠・てんかん・高次脳研究グループ)

小児発達障害の特性と治療の有用性に関する研究

1. 研究の対象	2008年4月1日から2024年3月31日に当院小児科発達障害外来の診療を受けられた方。
2. 研究目的・方法	近年、発達障害について小児期の早期発見と介入による有用性が着目されていますが、個々の特性に着目した臨床経過について十分な根拠の蓄積ができておらず、エビデンスのある治療法が確立していません。本研究では小児期からの発達障害の特性と、治療の有用性を縦断的に検討し、発達障害の特性評価と治療の有用性について縦断的に検討していきます。期間：研究機関の長の許可日 ～ 西暦2024年 3月 31日 方法：発達外来での診療記録及び、自記式質問紙による評価、発達検査の結果や治療の経過について収集し、解析します。
3. 研究に用いる 試料・情報の種類	情報：病歴、向精神薬やADHD治療薬などの治療歴、副作用等の発生状況、症状に関する質問紙、発達検査の結果等

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学医学部小児科 吹田市山田丘2-2

電話06-6879-5511

研究責任者： 国立大阪大学大学院医学系研究科小児科 下野 九理子